

やまぐちっ子学力向上だより

第134号 R5.9.19

山口県教育庁義務教育

校内研修のアップデート ～若手教員スキルアップ研修を参考に～

8月18日（金）、21日（月）の2日間、採用4・5年目の先生方を対象にした若手教員スキルアップ研修を行いました。参加された先生方による研修会後の振り返りから、各学校の校内研修をよりよいものにするためのポイントがみえてきましたのでお伝えします。

ポイント1 外部講師の招聘による視野の拡大



講義を受けて、話し合い活動を機械的に行なっていることが多かったため、何のためにその活動を仕組むのかということ、しっかり考え直したいと思いました。



岡本先生の講義の様子

山口大学教職大学院教授 岡本昭彦先生に、授業づくりについてお話をいただきました。大切なことを改めて捉え、そのことを生かしながら、その後の指導案検討等を進めることができました。

ポイント2 各自が習得したいことの整理



自分が必要な情報を自分から掴みに行くことが大切だと思いました。自分の身に付けたい力を考えて、勉強していきたいと思います。



グループで、学びたいことを語り合っている様子

研修では、2日間を通して学びたいことを言葉で表現する時間を設けました。このことが、研修に主体的・積極的に取り組むことにつながっていました。

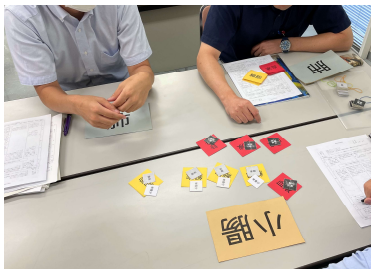
振り返りからみえてきた 校内研修のポイント

ポイント3

授業者の問題意識に沿った指導案検討



先生方と質の高い協議ができたのがよかったです。よい教員になりたいと改めて思いました。



教具も示しながら指導案検討をしている様子

事前に作成した指導案についてグループで検討する際には、授業者がどのように授業を改善したいと思っているのか等を告げることで、授業者の問題意識に沿った内容の濃い検討をすることができました。

ポイント4

ミドルリーダーの積極的な関わり

指導案検討で行き詰まった時には、ミドルリーダーの先生がサポート・助言をくださり、9月からの授業への意欲が高まりました。



学び続ける教師であるためにというテーマで話をするミドルリーダーの様子

各グループに一人ずつ、ミドルリーダーの先生方が指導助言者として入ってくださいました。また、代表のミドルリーダーの先生方に、学び続ける教師であるために大切だと思うことについて話していただきました。授業づくりに関するきめ細かな助言を得るとともに、めざす教師像について考えることができました。